皇學館大学 CLL 活動のしおり（学生用）

令和８年度版

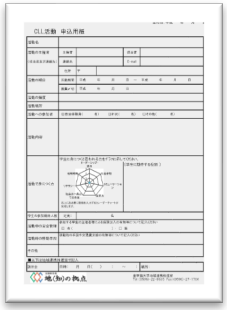
皇學館大学CLL活動について（学生・実施主体向け） 令和8年4月版

CLL（Community Learning Labo）活動とは？

皇學館大学生が地域の皆さんと一緒に伊勢志摩定住自立圏を中心とする三重県内の課題解決体験を通して、キャンパスでは学べないことを学ばせていただくプログラムです。

CLL活動報告会

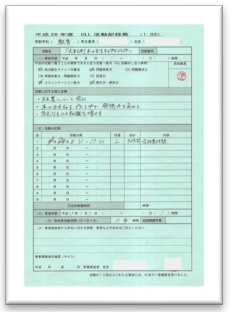
活動申込書



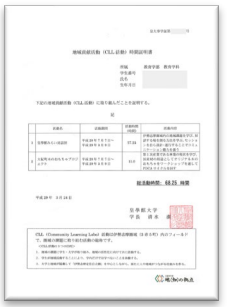
活動説明会

事前学修

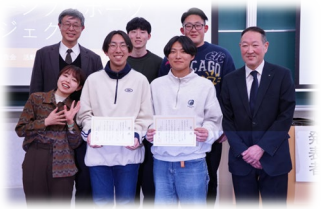
活動記録票



地域貢献活動時間証明書



事前相談 → お申込 → 活動説明会 → 事前学修 → 活動 → 活動報告会 事後学修



活動報告会にて優秀PJの表彰

学びの支援体制

地域連携推進室 → **担当教員・地域課題学修支援室**

CLL活動の3つの目的

1. 地域の課題に学生・大学が取組、地域の活性化に向けてともに活動する。
2. 学生が地域活動することにより、学内だけでは学べないことを体験する。
3. 大学と地域が協働して、伊勢志摩圏域を中心とする三重県内で、新たに人や地域がつながるしくみをつくる。

CLL活動とできる活動例

・取組の企画に学生のアイディアがほしい
・マンネリ気味の活動に新しい切り口がほしい
・地域の課題について多世代で話し合いたい等

CLL活動とできない活動例

・地域のまつり当日ボランティアがほしい
（単なる労働力、手、ではなく、そこに学びの効果があるものとさせていただいています。）

学生が養うことを期待する力

- 地域課題を学びしっかりと考える力
- 異世代コミュニケーション能力
- 解決策を考え、前に踏み出す力
- 企画・立案し、合議し、実施する力

CLL 活動における注意事項（学生版）

地域課題学修支援室

令和8年4月

学生の皆さんは CLL 活動に参加するにあたって、次の事項に特に注意をしてください。もし、活動中に疑問、相談等がある場合には、地域課題学修支援室まで問い合わせてください。

1. 活動する場合
   （ア）学内での活動
      ① 活動予定の決定（学内での教室等の手配は地域課題学修支援室に相談してください）
      ② フォームから活動予定を入力する
      ③ 活動
      ④ 活動記録票に各自活動時間等を記録する
   （イ）学外での活動
      ① 活動予定の決定
      ② **1週間前**までに地域課題学修支援室に「学外 CLL 活動届」を提出する
      ③ 活動
      ④ 活動記録票に各自活動時間等を記録する

フォーム

カレンダー

2. 学外における活動場所までの移動について
   （ア）移動については、原則公共交通機関で行ってください。
   （イ）自家用車を学生が運転して行くことは原則できません（詳細は次の3. を参照してください）。
   （ウ）大学までの通学に使っている交通手段を使用して構いません（自家用車による通学は原則禁止されています）。
   （エ）実施主体や教員の運転する自動車等での移動については問題ありません（参考：申込書誓約事項）
3. 活動における事故時の保険適用について
   （ア）原則：本学の学生は「学生教育研究災害傷害保険（付帯賠償責任保険）」に加入しています。
   （イ）本保険では、次の内容が補償されます。
      ① 学生本人の怪我（学生教育研究災害傷害保険）
      ② 学生が他人に怪我を負わせた、他人の物を壊した（付帯賠償責任保険）
   （ウ）保険が適用されるのは次のときです。CLL 活動については、大学から②の学校行事であると認定されています。
      ① 正課中
      ② 学校行事に参加している間
      ③ ①②④以外で学校施設内にいる間
      ④ 課外活動（クラブ活動）を行っている間

（エ）本保険には対象外の場合が定められています

① 学生本人の怪我（学生教育研究災害傷害保険）について

✓ 通学手段として学校が禁じている手段による通学（活動への移動）の場合＞自家用車

② 学生が他人に怪我を負わせた、他人の物を壊した（付帯賠償責任保険）について

✓ 徒歩、自転車、電車等公共交通機関以外（自動車・バイク等）での移動の場合

（オ）以上のことより、CLL 活動に学生が自動車を運転して向かった場合、いずれの補償も適用外となるため原則禁止としています。もし自動車を利用する場合には、大学の許可が必要です。キャンパスガイドの記載を確認の上、期間に余裕を持って学生担当に相談してください。

4. 各種報告等の提出について

CLL 活動では、学修成果の記録および報告会等を行うため、学生には次のような提出物の提出をお願いしています。地域課題学修支援室から主に manaba を通して指示がありますので、期限を守って提出してください。

（ア）年度末の活動報告書、活動報告ポスター（全プロジェクトにつき1つずつ）

（イ）活動記録票（個人の活動記録）

（ウ）CLL 活動に関するアンケート 他

5. 活動記録票への記入について

学び多い活動とするため、CLL 活動では「活動記録票」に活動を記録することとしています。この記録票は学生自身が学びを振り返るツールとしても活用できるように設計しています。次の点を確認しておいてください。

（ア）その都度記録するようにしましょう。

（イ）欄がいっぱいになったら、追加の様式を地域課題学修支援室で受け取ってください。

（ウ）終了した年度の分の記録票は支援室に提出してます。後日 PDF で manaba ポートフォリオに支援室から挿入します。

（エ）記録票は「令和◯年度 CLL 活動記録票」「令和◯年度活動前自己評価シート」という名前のレポートとしてポートフォリオに挿入されます。学修の振り返りや、就職活動等の参考にしてください。

（オ）年度が終了した後は提出された記録票をもとに「地域貢献活動時間証明書」を発行することができます。発行の申込みは地域課題学修支援室まで。

6. その他

（ア）活動中はなるべく多く写真を撮るようにするとよいでしょう。活動の記録にもなりますし、年度末に提出する報告書にも添付が必要です。

（イ）CLL 活動に関する公式の連絡等を地域課題学修支援室から manaba にて行いますので、リマインダーの設定をしておくことを推奨します。

（ウ）活動に関する SNS 投稿について、実施先で知りえた秘密やプライバシーに関することを SNS 等に投稿することは絶対にやめてください。それ以外の内容についても、投稿する際にはくれぐれも注意をしてください。ネットに投稿してもいいのは「自宅の玄関に張り紙して書けることだけ」と考えてください。ネット上のトラブルは就職、恋愛、結婚等を台無しにし、自分だけでなく家族にも被害が広がるケースも報告されています。くれぐれも気をつけてよい情報発信を行ってください。こちらの記事も是非読んでみてください（「その書き込み、玄関に貼っても大丈夫ですか―『ネットの書き込み』は『玄関の貼り紙』と同じ」https://toyokeizai.net/articles/-/112368 ）。QR コードから記事に飛べます。

また、地域課題学修支援室インスタグラムがあります。そちらで情報発信を行っていますので、日々の活動の紹介、イベント等の周知に活用してください。詳しくは支援室までお尋ねください。ぜひフォローしておいてください。

@GAKKAN_CLL

～ 皇學館大学 CLL 活動に関する Q&A ～

Q1. CLL 活動とはどういうものですか？

A. 皇學館大学生が地域の皆さんと一緒に「伊勢志摩定住自立圏を中心とする三重県内の地域課題解決について実際に体験を通して学ぶ学修プログラム」です。

Q2. 単位の認定はありますか？

A. CLL 活動は、課外活動とされており、単位の認定はありません。しかし、申請にもとづき学長名の活動時間証明を発行することができますので、就活等に活用することができます。

Q3. 参加するには、どうしたらよいですか？

A. 地域課題学修支援室が実施する事前学修を受け、所定の参加申込書に記入、提出する必要があります。

Q4. 参加についてどのような負担がありますか？

A. 活動については、必ず事前学修、事後学修を行います。それぞれは 90 分程度です。別紙の活動記録票に活動時間等を記録し、担当教員（実施主体の方）にサインをしてもらいます。また、学内発表会（３月を予定）等に参加し報告をしてもらいます。その中で優秀なものについては、学外の報告会に参加してもらうこともあります。その他の負担は、各活動によって違いますので、支援室や担当教員によく相談した上で参加を決めてください。また、学外の方との接点が増えますので、皇學館大学生としての誇りと自覚をもって、責任ある態度で臨んでほしいと思います。

Q5. 複数の活動に参加できますか？

A. 可能です。学業に支障がない範囲で、いろいろな体験に参加してもらえればと思います。

Q6. CLL 活動にはどのようなものがありますか？

A. CLL 活動は伊勢志摩定住自立圏を中心とする三重県内の地域課題に取り組む活動をしている自治体や各種団体の活動にご一緒し、地域課題の解決について体験を通して学ぶものです。過去には、観光 PR ポスターの作成、まちおこしイベントの企画・運営、市発行の啓発冊子の編集・作成等をテーマとするもの等様々なものがありました。地域課題学修支援室で相談したり、先に参加している先輩等の話を聞いたりした上で、自分の興味・関心にあわせて選んでください。情報は９号館２F の地域課題学修支援室に集約されていますので、気軽に相談してみてください。

Q7. 学外での活動がある場合には移動等はどうなりますか？

A. 移動は公共交通機関で行ってください。困難な場合には実施主体さんと相談して、別途連絡をします。

Q8. 活動にあたってどんなことに注意をしたらいいでしょうか？

A. それぞれの活動の実施主体さんや担当教員の指示に必ず従ってください。学業優先、安全第一を旨とし行動をしてください。CLL 活動に参加するために講義等を欠席することがないようにしてください。他大学の学生、一般社会人の方と行動をともにすることもあるので「皇學館大学生」としての自覚と誇りを持って行動してください。活動先での喫煙等についてはルールを守ってください。また、いかなる場合にも未成年者の飲酒・喫煙は厳禁です。

Q9. 活動中の事故等は保険がありますか？

A. 「学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険」が適用されます（キャンパスガイド「学生保険・健康管理」の項参照）。万が一、自身がケガをしたり、相手にケガをさせたり物を壊した時は地域課題学修支援室にすぐに知らせてください。

皇學館大学教育開発センター
地域課題学修支援室
〒516-8555
三重県伊勢市神田久志本町 1704
WEB：https://www.kogakkan-u.ac.jp/cooperation/coc/
メール：coc@kogakkan-u.ac.jp
電話：0596-22-8542

「伊勢志摩定住自立圏共生学」教育プログラムによる人材育成～学修・教育目標

学修・教育目標	A	地方創生マインドの養成（教養・視野の広さ）	**持続可能で活力ある地域を形成しようとする意思を持ち、伊勢志摩圏域の課題を、1）歴史文化観光資源領域、2）自然環境定住資源領域、3）地域経済・産業領域、4）地域福祉・教育資源領域という４領域に関連して、自然・人文・社会などの複数の科学的視点から理解することができる能力** ・圏域の現状と今後めざすべき地域社会のあり方について、科学的視点に基づいて説明できる。
	B	問題発見力	**地域社会における様々な資源と人間とのかかわり及び人と人とのかかわりを理解し、持続可能な地域社会を構築する上での現状の問題を認識できる能力** ・圏域自治体の「総合計画」等で取り組まれている諸課題につき、施策の特徴と現状の問題点を説明できる。
	C	問題構成力	**問題を論理的に整理し、技術的・政策的課題として構成できる能力** **一つの問題を複数の視点から影響評価し、複数の手法を用いて総合的に解決策を提案しようとする姿勢・能力**
	D	情報収集力・問題解析力	**課題解決へ向けて、必要な情報を収集・整理し、技術的・政策的問題を抽象化、モデル化して、解析できる能力**
	E	評価力	**複数の案を提案し、その結果を予測して、優劣を評価できる能力** ・様々な人や団体等が取り組んでいる地方創生の既存の取り組みを評価し、その手法及び技術について説明できる。 ・得られた取組案の現実への適用性や限界を考察できる。 ・複数の代替案を設計し、結果を予測し比較できる。
	F	コミュニケーション能力	**提案する取組の内容、合理性、効果、実行可能性を他者に伝達できる能力**

			他者と協働して活動に取り組み、その内容について建設的なディスカッションができる能力 ・討議、発表の場で他者の意見に耳を傾け、自らの考えを他者に理解させることができる。
	G	実行力・解決力	**取組のプロセスを実行できる能力。取組を自発的・継続的に実行できる能力。** ・グループでの分担を考え、計画的に仕事を進めることができる。 ・取組のプロセスを振り返り、改善提案を行うことができる。 ・より複雑・高度な課題に挑むために、必要な知識や情報を自ら発見し、学修することができる。

皇學館大学地域課題学修支援室
〒516-8555
三重県伊勢市神田久志本町 1704
WEB：http://coc.kogakkan-u.ac.jp/
メール：coc@kogakkan-u.ac.jp
電話：0596-22-8542

文部科学省 地(知)の拠点

CLL 活動参加申込書（学生用）

私は、皇學館大学 CLL（Community Learning Labo）活動に参加を申し込みます。参加するにあたり以下の内容について遵守することを誓約します。

- □ 違法行為や学生の本分に反する行為等（反社会的団体への関与や大学の信用を傷つける行為を含む。）を行いません。
- □ 自他の生命・身体の安全確保に細心の注意を図ります（感染症等への対策を含む）。
- □ 活動中には、実施主体の責任者及び担当教員の指示に従い行動します。
- □ 活動中における事故・疾病・犯罪による損害、故意や重大な過失により生じた損害及び、天災・事変などの不測の事態や不可抗力により生じた損害について皇學館大学及び本プログラム関係者に責任を問うことはしません。
- □ 移動には公共交通機関を利用し、活動の必要により教員及び実施主体等の運転する車両に同乗した際には任意保険の範囲を超えて賠償の請求をしません。
- □ いかなる場合においても、20 歳未満である場合飲酒・喫煙をしません。
- □ 活動に参加が決定した後、やむを得ず活動を辞退する場合には、速やかに地域課題学修支援室に申し出ます。
- □ 活動期間中にやむを得ず欠席する場合には実施主体及び担当教員に必ず連絡をします。
- □ 大学が指定する事前、事後学修に必ず参加し、活動終了後は速やかに活動記録票などを提出します。
- □ 「学外 CLL 活動届」等活動に必要な書類や手続を期限までに必ず行います。

＜よく読んでチェックを入れてください。＞

活動中の写真・動画や報告書等の成果物について大学 WEB ページ、大学広報媒体などに掲載される場合があることを

□承諾します　　□承諾しません

令和　　年　　月　　日

活動名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

学部＿＿＿＿＿＿　学科＿＿＿＿＿＿　学生番号＿＿＿＿＿＿

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞＿＿＿＿

緊急連絡先（本人以外）＿＿＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿（　続柄＿＿＿＿＿＿）

※ 連絡先などの情報を実施主体と共有することがありますが、緊急の場合及び活動の円滑化などの目的以外に使用することはありません。

ＣＬＬ活動記録票

令和 ＿＿＿年度より参加

学科（　　）学生番号（　　）氏名（　　）

活動名					
（1）事前学修	令和　年　月　日（　：　～　：　）①（　　）時間				
今回の活動で養うことが期待できると思う資質・能力（CLL 活動のしおり参照） □A.地方創生マインドの養成　□B.問題発見力　□C.問題構成力 □D.情報収集力・問題解析力　□E.評価力 □F.コミュニケーション能力　□G.実行力・解決力					担当教員印
活動に対する個人目標（参加の動機や活動の終了時に自分がどうなっていたいか等）					
（2）活動の記録		時間数	移動時間	1日計	内容
（例）6月　10日　9：30　～13：30		4	0.5	4.5	現地打合せ
月　日　：　～　：					
月　日　：　～　：					
月　日　：　～　：					
月　日　：　～　：					
月　日　：　～　：					
月　日　：　～　：					
月　日　：　～　：					
月　日　：　～　：					
月　日　：　～　：					
月　日　：　～　：					
②小計					時間
（3）担当教員（実施主体）の確認（サイン） 令和　年　月　日　担当教員（実施主体担当者）　氏名					
（4）事後学修	令和　年　月　日（　：　～　：　）③（　）時間				地域課題学修支援室
（5）総合計活動時間（①＋②＋③）				時間	

記録欄がいっぱいになった場合には別紙を利用してください。

振り返り（自己評価）シート

今回取り組んだ活動を振り返って、各項目に 1～5 の数字を記入しなさい。

5：非常によく出来た　4：よく出来た　3：どちらでもない

2：あまりできなかった　1：全くできなかった　0：該当しない

A.地方創生マインド		
	今回取り組んだ地域の課題を理解できたか。	
	その課題について他の人に説明できるか。	
	その課題解決に今回の活動がどう役立つのかを説明できるか。	
B.問題発見力		
	活動を進めていく中で問題をみつけることができたか。	
C.問題構成力		
	問題に対して 1 つではなく複数の解決法を考えることができたか。	
D.情報収集力・問題解析力		
	問題を解決するために適切な手段で情報を収集することができたか。	
	問題を論理的に整理し、解決に向かう方法を考えることができたか。	
E.評価力		
	複数の問題解決手法を比較したうえでよりよい解決策を考えることができたか。	
F.コミュニケーション能力		
	メンバーや実施先と積極的に関わりを持とうとすることができたか。	
	場や相手に応じた挨拶や言葉遣いなどができたか。	
	他のメンバーや実施者の話をしっかりと聴けたか。	
	他のメンバーや実施者に配慮しながら、自分の考えを伝えることができたか。	
G.実行力・解決力		
	他のメンバーと協力して取り組むことができたか。	
	この活動に積極的に貢献することができたか。	
その他		
	提出物、集合時間など期限を守ることができたか。	
	社会の一員として自覚と責任をもって行動することができたか。	

感想と今後の課題（表面の「活動に対する個人目標」を確認し、達成できたこと、できなかったこと等）

※記載された内容は報告書及び本学 HP 等に掲載することがあります。

CLL 活動記録票　別紙　　／

学部学科（　　）学生番号（　　）氏名（　　）

活動名	

（２）活動の記録

実活動時間	時間	移動	１日計	内容
（例）6 月　10 日　9：30　～13：30	4	0.5	4.5	現地打合せ
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
②小計				時間

皇學館大学　地域課題学修支援室

「地域貢献活動（CLL 活動）時間証明書」発行申請書

申請日：令和　　年　　月　　日

学　生　番　号	
（フリガナ）	
氏　　名	
生　年　月　日	年　　月　　日
所　　属	学部　　学科
発　　行　　数	（　　）通
証明書使用の目的	
特　記　事　項	

※特定の活動のみの証明書発行を希望の場合は、特記事項欄に発行を希望する活動名を記入のこと。

財務部	地域課題学修支援室

---------- キリトリ線 ----------

地域貢献活動（CLL 活動）時間証明書発行受領引換

地域課題学修支援室

学科　　年

学生番号

氏名

●証明書の受理にはこの「地域貢献活動（CLL 活動）時間証明書受領引換」を持参して下さい。

---------- キリトリ線 ----------

領収報告書

氏名　　様

学生番号

金額　￥200×（　　）通　　計　　円

但　証明書発行手数料として
上記金額を徴収しましたことを報告します。

領収証

氏名　　様

学生番号

金額　￥200×（　　）通　　計　　円

但　証明書発行手数料として
上記金額を領収しました。

皇學館大学

皇大事学証第＊＊＊号

地域貢献活動（CLL 活動）時間証明書

所属　　○○学部××学科
学生番号　D＊＊＊＊＊＊＊
氏名　　○○　○○
生年月日　　平成△△年　×月××日

下記の地域貢献活動（CLL 活動）に取り組んだことを証明する。

記

	活動名	活動期間	活動時間（時間）	活動内容
1	伊勢市上水道新規啓発冊子作成	平成○○年×月××日～ 平成○○年△△月△△日	96	・冊子の企画、立案 ・デザインや校正
2	伊勢志摩観光ポスター作成事業	令和○○年×月××日～ 令和○○年△△月△△日	108	・ポスター作成会議での企画・立案 ・写真撮影、レイアウトへの参画

総活動時間：＊＊＊＊時間

令和○○年　×月××日

皇學館大学
学　長

CLL（Community Learning Labo）活動は伊勢志摩定住自立圏を中心とする三重県内の地域課題について体験を通して学ぶ学修プログラムです。

＜CLL 活動の 3 つの目的＞

1．地域の課題に学生・大学が取り組み、地域の活性化に向けて共に活動する。

2．学生が地域活動することにより、学内だけでは学べないことを体験する。

3．大学と地域が協働して「伊勢志摩定住自立圏」を中心としながら、新たに人や地域がつながる仕組みを作る。

文部科学省 地(知)の拠点